



永岡



西小田



1月上旬に、市内各地で「ほうげんぎょう」が行われました。都市化が進むにつれてその数は減少していますが、筑紫野市では現在も約30の行政

区などで行われています。竹などで組んだやぐらに門松やしめ縄を積み、火をつけると、瞬時にパチパチと音を立てて燃え上がります。

残り火で焼いた餅を食べると病気になる、と言われており、集まった人はおいしそうに餅を食べ、新しい一年の健康を願いました。



秋原



ほうげんぎょう 古くから日本全国で広く見られる正月の火祭りで、地域によって「左義長(さぎちょう)」「どんど焼き」など、さまざまな呼び方があります。

ほのお かこ 無病息災を願う



筑紫野市ホームページ
<http://www.city.chikushino.fukuoka.jp/>



筑紫野市フェイスブック
<https://www.facebook.com/ChikushinoCity/>



筑紫野市ツイッター
<https://twitter.com/ChikushinoCity/>